

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年41週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数

男女別

推移グラフ

保健所別

保健所別(定点当たり)

年齢階級別

- 病原体・抗体検査情報

週別検出状況

臨床診断名別検出結果

クローズアップ「感染性胃腸炎」

- 感染症豆知識「髄膜炎菌性髄膜炎」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

発生動向の概況 《2005年41週》

(全数把握対象疾患)

・今週報告された腸管出血性大腸菌感染症4症例中1症例で焼肉の喫食が確認されている。
O157VT2の1症例は40週に報告された症例の同一家族である。

区分	疾患	報告件数	情報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	コレラ	3	コレラ菌O1エルトル小川型	国内
			コレラ菌O1エルトル稲葉型	パキスタン
			コレラ菌O1(型不明)	フィリピン
二類	細菌性赤痢	1	ソルネ菌	フィリピン(セブ島)
	腸チフス	1		インド
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	O157 VT2(2件)、O157 VT1・VT2(2件)	国内
四類	A型肝炎	1	推定感染経路:経口感染	カンボジア・ミャンマー
	レジオネラ症	1	血清群1 推定感染経路:温泉	国内
五類	アメーバ赤痢	2	推定感染経路:不明	国内1件、不明1件
	ウイルス性肝炎	1	B型 推定感染経路:不明	国内
	HIV感染症	7	無症候性キャリア6件、その他1件 推定感染経路:異性間性的接触1件、同性間性的接触4件、異性間/同性間性的接触1件、不明1件	国内6件、マレーシア1件
	梅毒	3	早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件 推定感染経路:異性間性的接触2件、不明1件	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

(定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・流行性耳下腺炎の報告数が依然として高い水準である。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
不明発しん症	0M	尿	エンテロウイルス	
不明熱	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
不明熱	4M	髄液	エンテロウイルス	
EBウイルス感染症	10	咽頭拭い液	EBウイルス	
クループ症候群	5M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、パラインフルエンザウイルス	
無菌性髄膜炎	26D	糞便	エンテロウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
けいれん重積	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、アデノウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子	
急性咽頭炎	14	咽頭拭い液	エンテロウイルス		
喘息、急性上気道炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス		
上気道炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス		
肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス		
不明発しん症	4	咽頭拭い液	アデノウイルス2型	* 分離	
不明発しん症	7	咽頭拭い液	アデノウイルス2型		
発熱	9	鼻汁	アデノウイルス1型		
熱性けいれん	3	咽頭拭い液	アデノウイルス2型		
髄膜炎	34	咽頭拭い液	エコーウイルス30型		
髄膜炎	1M	髄液	コクサッキーウイルスB3型		
胃腸炎 けいれん	9M	糞便	アデノウイルス2型		
けいれん重積	9M	糞便	ポリオウイルス2型		
慢性下痢症	1	糞便	アデノウイルス2型		
咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型		
上気道炎	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB4型		
コレラ	83	菌株	コレラ菌O1エルトル小川型 (コレラ毒素産生)		生化学的性状 & 血清型試験
コレラ	47	菌株	コレラ菌O1エルトル稲葉型 (コレラ毒素産生)		生化学的性状 & 血清型試験
腸チフス	21	菌株	チフス菌	生化学的性状 & 血清型試験	

* 遺伝子検査で報告済みの検体を含む。

腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		2	3	5

定点医療機関からのコメント

今週は、定点医療機関からのコメントはありませんでした。

全数把握対象疾患 患者報告数 2005年41週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		38週	39週	40週	41週	年累計	41週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ		1		3	9	3	45
	細菌性赤痢	1	4	5	1	77	15	477
	ジフテリア							
	腸チフス		2		1	10	4	43
	パラチフス					3		12
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	11	15	4	223	64	3021
四類	E型肝炎					7	()	(34)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	4		1	1	19	(1)	(145)
	エキノコックス症					1		14
	黄熱							
	オウム病					2	1	27
	回帰熱							
	Q熱					3		8
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							3
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					3		107
	デング熱	1	1			21	2	58
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							50
	日本脳炎							1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症					1		1	
発しんチフス								
ボツリヌス症					1	()	(2)	
マラリア		1	1		14	1	53	
野兔症								
ライム病					4		7	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症				1	16	6	194	
レプトスピラ症					1	(1)	(6)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	6	9	2	151	2	556
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		2		1	32	2	227
	急性脳炎			1		14	(2)	(153)
	クリプトスポリジウム症					1		7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2			14	2	122
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2		46
	後天性免疫不全症候群	2	11	6	7	338	13	911
	ジアルジア症		1			9	1	57
	髄膜炎菌性髄膜炎					3		10
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1	4	3	63	6	418
	破傷風					1	1	81
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			11		56

2005/10/24集計

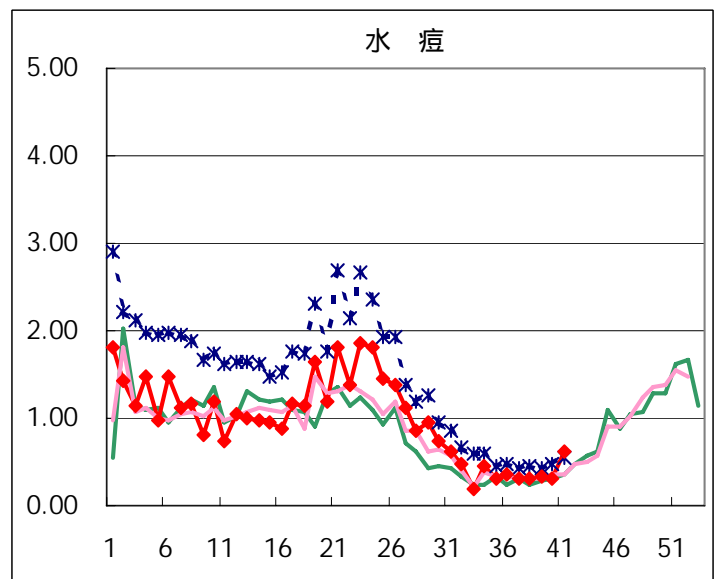
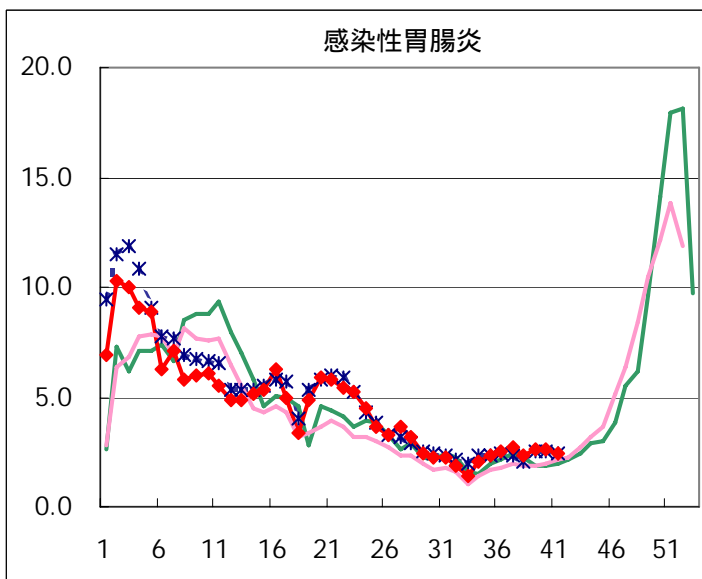
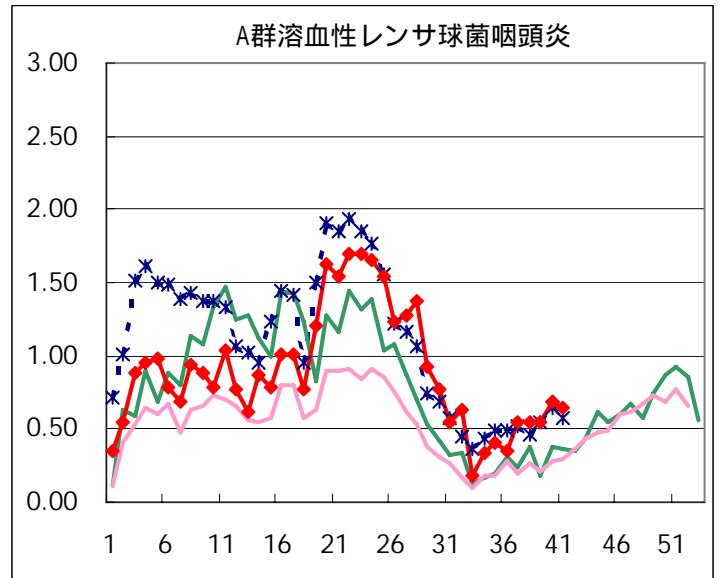
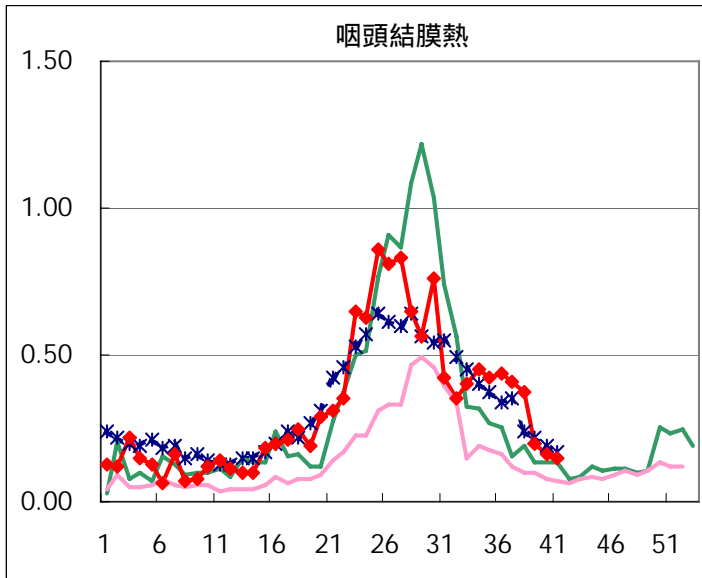
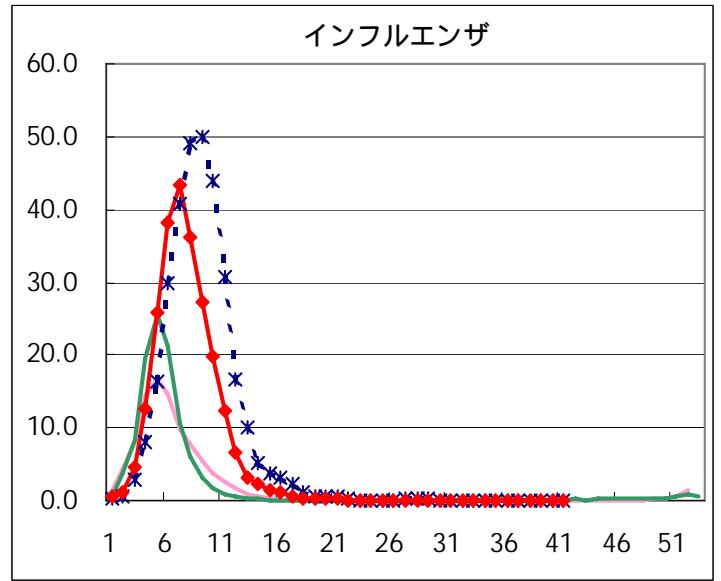
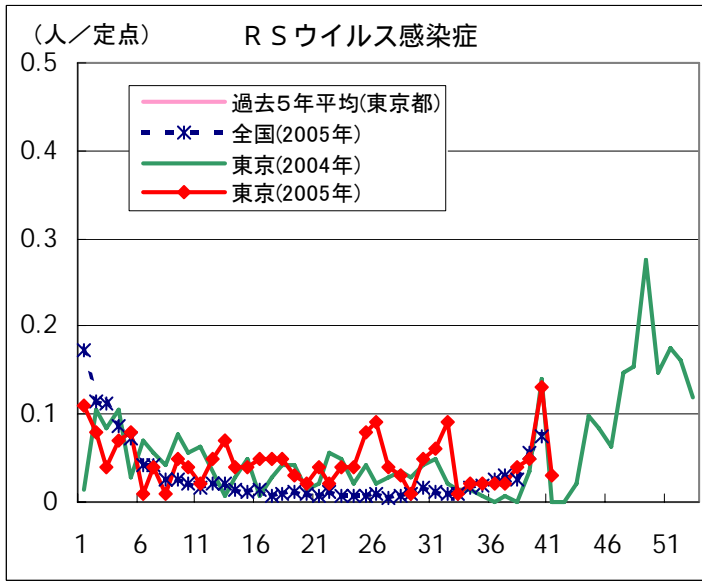
(カッコ内の数値は40週分)

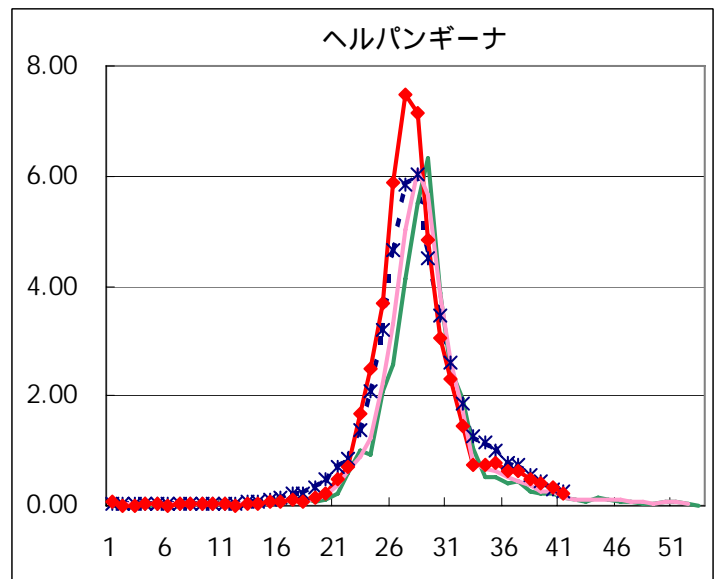
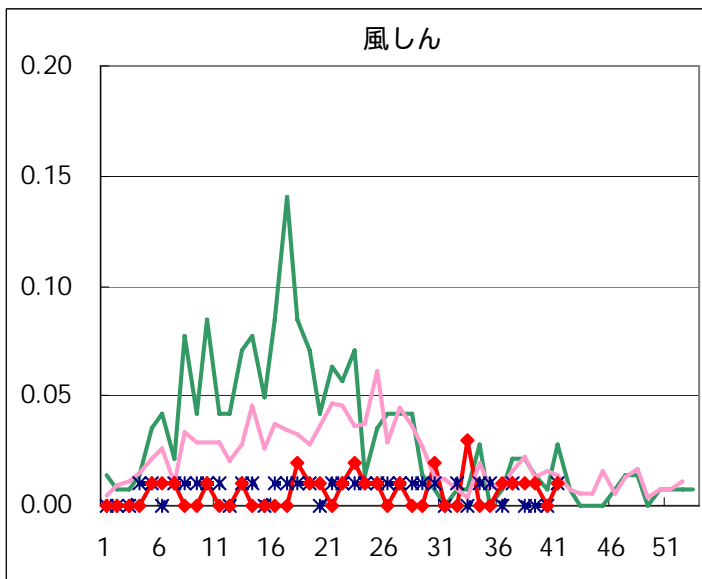
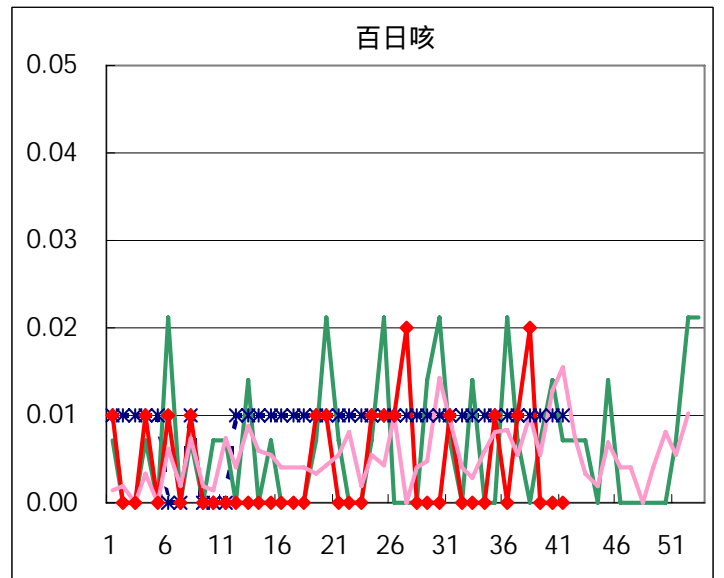
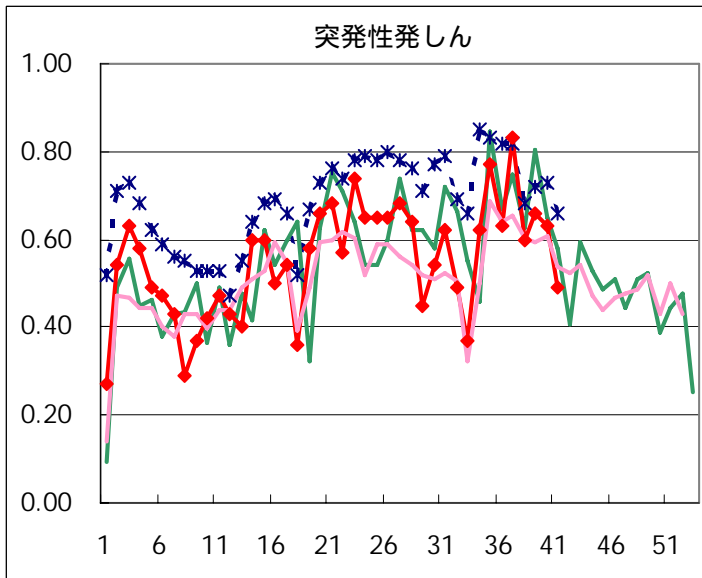
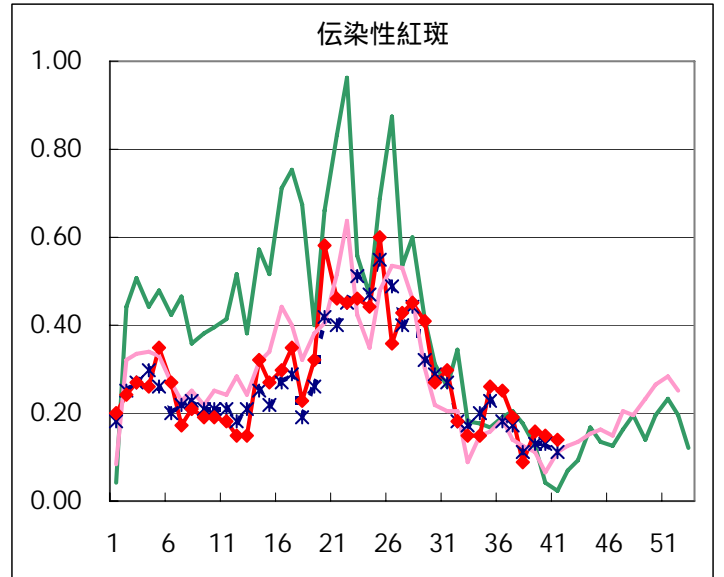
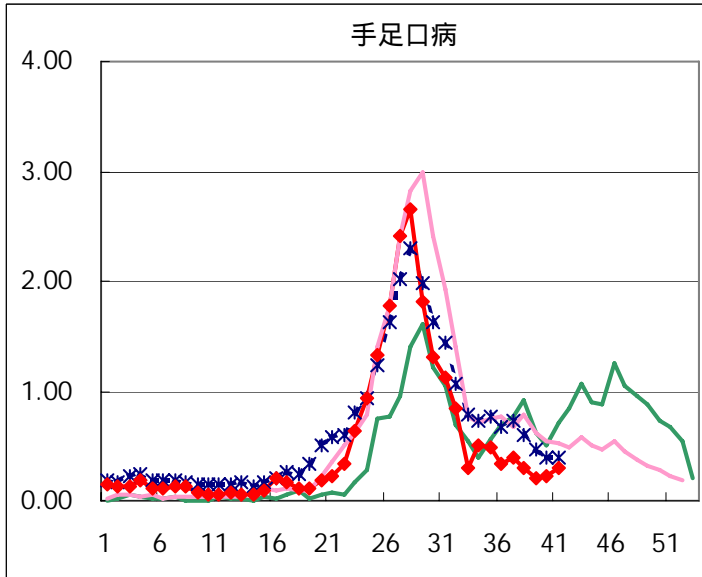
五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年41週

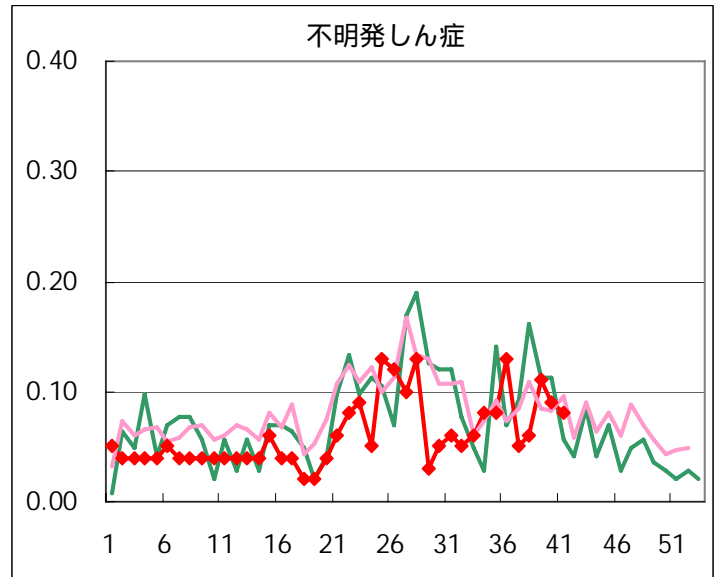
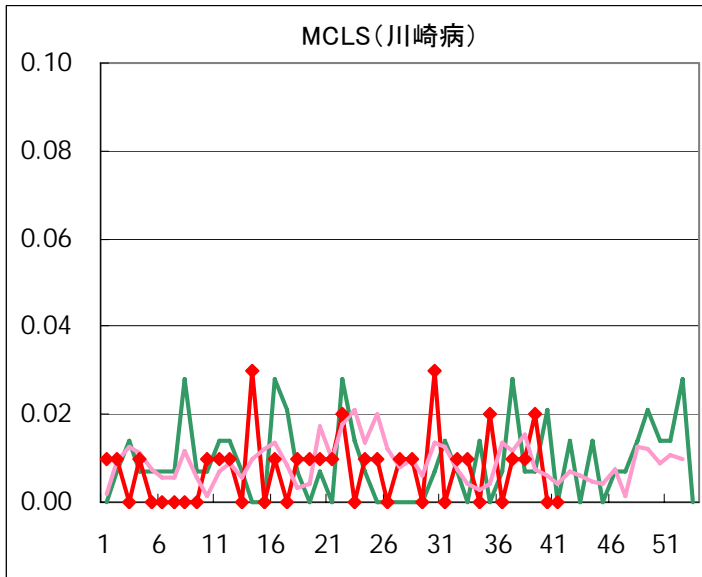
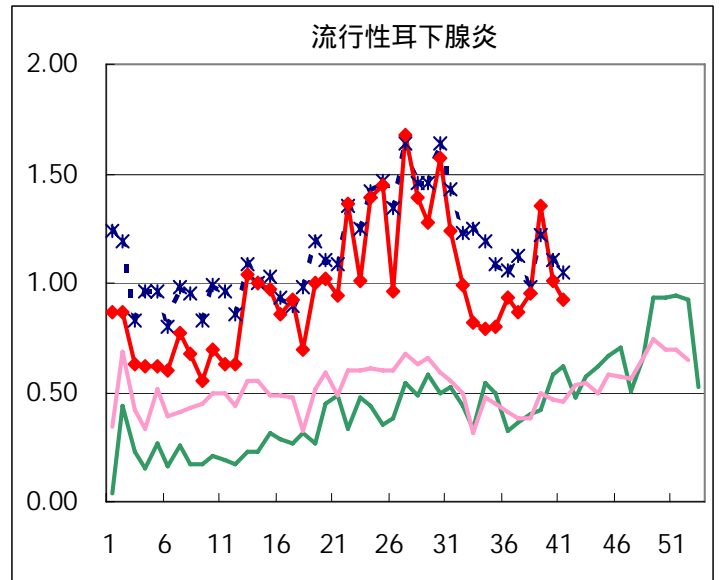
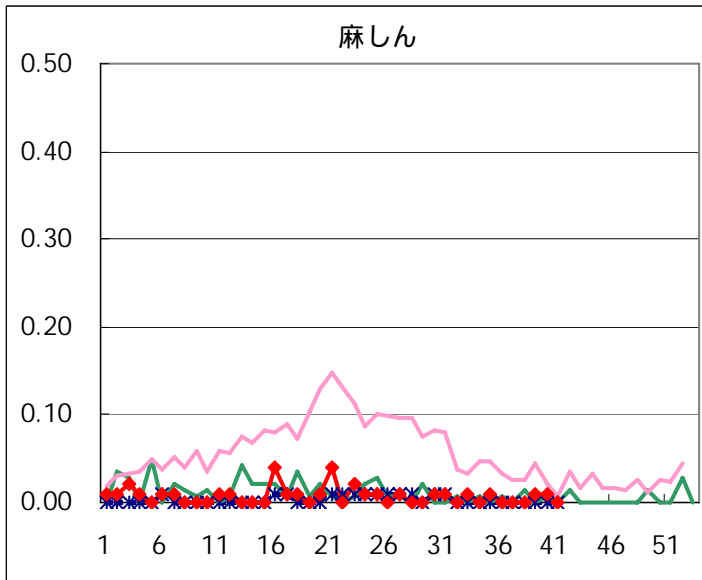
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		38	39	40	41		
RSウイルス感染症	男	3	4	10	3	20	150
	女	2	3	9	1	15	119
インフルエンザ	男			5		5	21,005
	女			2	1	3	21,383
咽頭結膜熱	男	30	17	15	13	75	1,038
	女	23	11	8	8	50	834
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	46	34	53	45	178	2,838
	女	31	42	43	47	163	2,355
感染性胃腸炎	男	190	207	200	179	776	14,172
	女	142	163	167	171	643	13,081
水痘	男	29	30	17	48	124	3,081
	女	17	18	29	38	102	2,754
手足口病	男	25	19	21	20	85	1,643
	女	18	9	12	23	62	1,311
伝染性紅斑	男	5	12	9	15	41	797
	女	8	11	12	5	36	846
突発性発しん	男	45	49	50	32	176	1,649
	女	40	45	40	37	162	1,560
百日咳	男	2				2	14
	女	1				1	8
風しん	男	1	1		1	3	12
	女		1			1	23
ヘルパンギーナ	男	39	39	27	15	120	3,490
	女	32	21	22	17	92	3,234
麻しん(成人麻しんを除く)	男						16
	女		2	1		3	26
流行性耳下腺炎	男	72	117	81	64	334	3,023
	女	63	74	64	66	267	2,573
不明発しん症	男	4	10	7	5	26	203
	女	4	5	6	6	21	145
MCLS	男		1			1	24
	女	2	2			4	17
急性出血性結膜炎	男						5
	女						2
流行性角結膜炎	男	5	9	8	5	27	259
	女	5	7	9	6	27	206
細菌性髄膜炎	男						4
	女						6
無菌性髄膜炎	男				1	1	17
	女				1	1	8
マイコプラズマ肺炎	男	2	1	5	2	10	55
	女		1	1	4	6	50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						2
	女	2				2	4
成人麻しん	男						
	女		1			1	1

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年41週現在

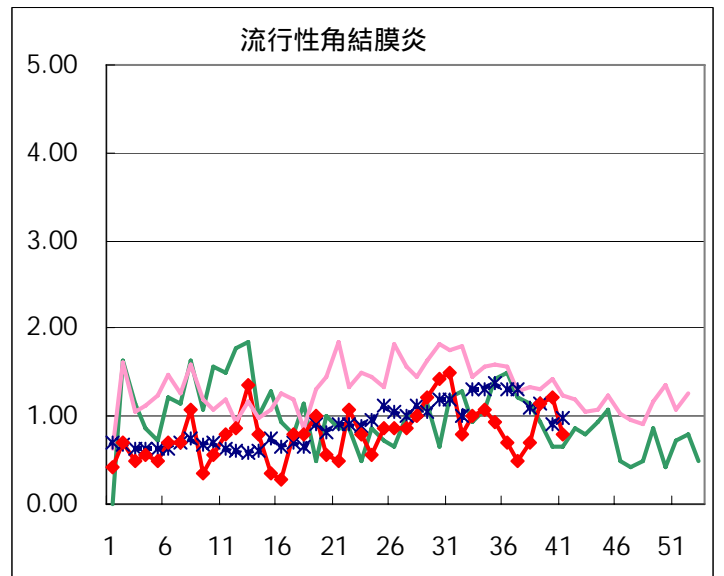
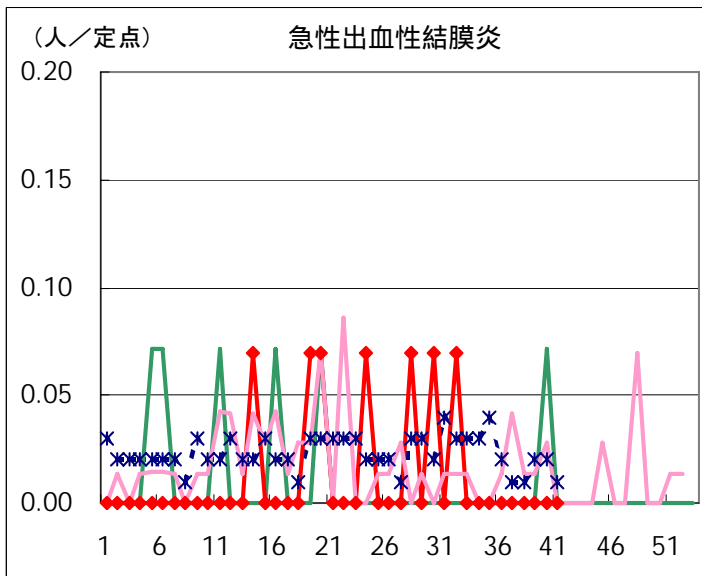
◆ 小児科・インフルエンザ定点



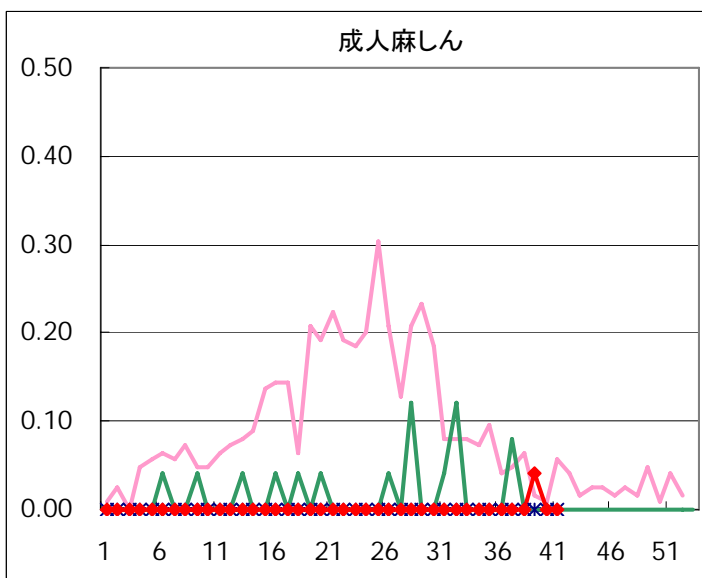
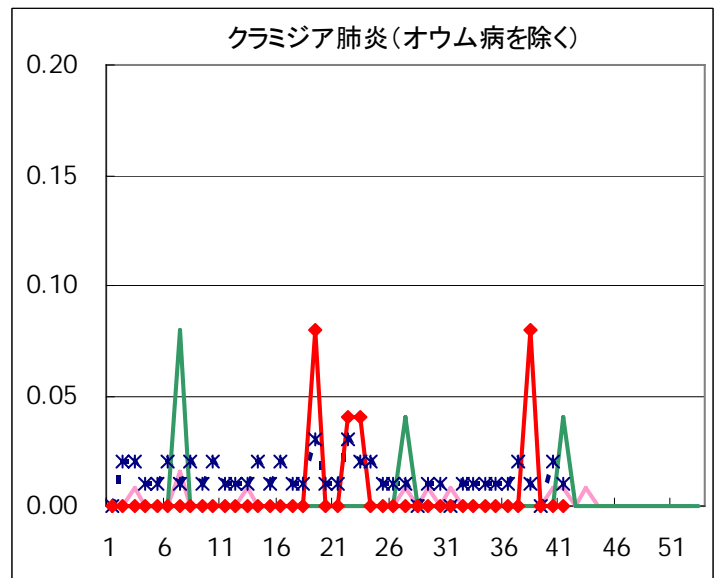
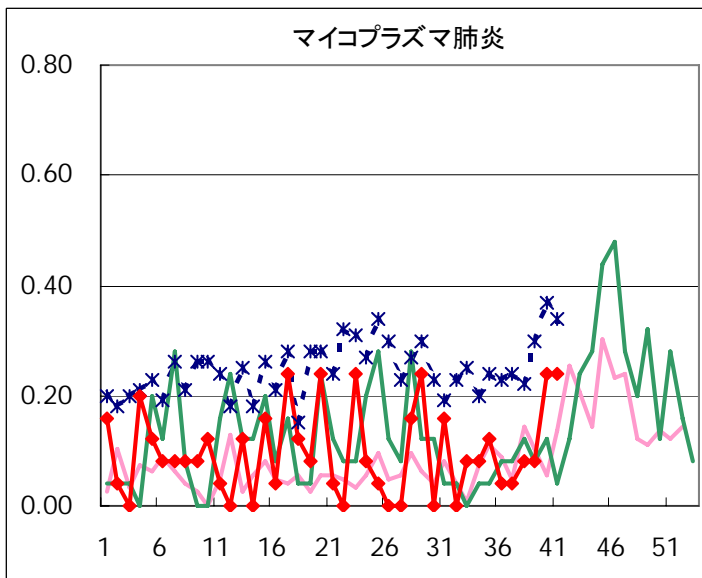
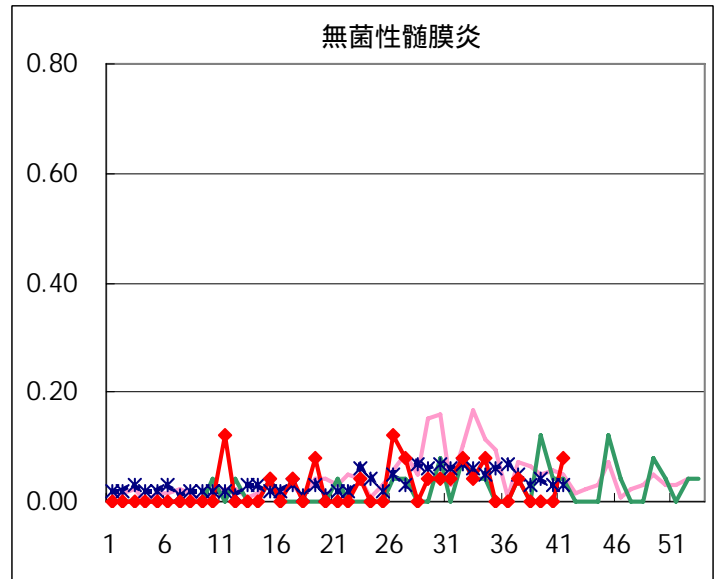
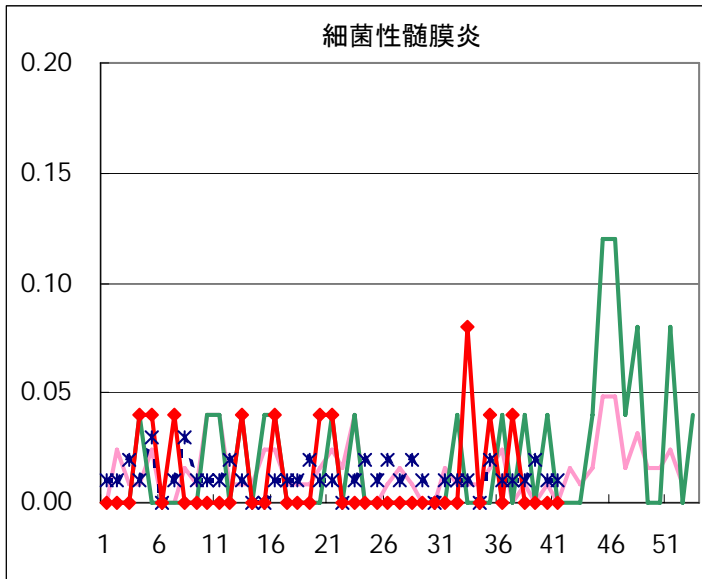




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年41週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田										
中央区				1	3				1	
みなと	3		8	23	9	8	1	1	2	
新宿区				1	11	1				
文京			1		3	1	3			
台東			3	1	19	2		1	3	
墨田区					3	4			1	
江東区					17	2			2	
品川区			1	1	21	2	1		4	
目黒区				1	4	3	7		4	
大田区			2	15	34	9	3	1	6	
世田谷			1	1	29	2	8	1	6	
渋谷区			1		15	1		1		
中野区	1			6	19	3	3	3		
杉並				3	21			1	4	
池袋					1	3			1	
北区					20	1	1	3	5	
荒川区										
板橋区				1	7				2	
練馬区			1	4	4	2	3	1	1	
足立				2	13	1		1	1	
葛飾区				1	9	4	2	2	4	
江戸川			2	4	11	6		1	2	
西多摩				3	19	12		1	3	
八王子										
南多摩				6	5	4	1			
町田				7	12		2		3	
多摩立川		1			8	3			1	
多摩府中				4	11	8	2	1	5	
多摩小平			1	6	22	3	6		7	
島しょ				1		1		1	1	

東京都合計	4	1	21	92	350	86	43	20	69	-
定点当り報告数	0.03	0.01	0.15	0.65	2.46	0.61	0.30	0.14	0.49	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年41週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田				1			1		2
中央区									5
みなと				2		1	2		60
新宿区		1		2		4			20
文京		1		6		4			19
台東		1							30
墨田区		1		4			1		14
江東区		1		5					27
品川区		3		1					34
目黒区				1					20
大田区		5		31					106
世田谷				3					51
渋谷区	1	1							20
中野区				4					39
杉並				9					38
池袋									5
北区				14			1		45
荒川区									
板橋区		1		2			1		14
練馬区				3					19
足立									18
葛飾区		3		3					28
江戸川		2		5					33
西多摩				5					43
八王子						1			1
南多摩		3		4					23
町田		6		4		1	3		38
多摩立川									13
多摩府中				12			1		44
多摩小平		3		9			1		58
島しょ									4

東京都合計	1	32	-	130	-	11	11	-	871
定点当り報告数	0.01	0.23	-	0.92	-	0.79	0.08	-	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年41週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田										
中央区				0.33	1.00				0.33	
みなと	0.50		1.33	3.83	1.50	1.33	0.17	0.17	0.33	
新宿区				0.17	1.83	0.17				
文京			0.33		1.00	0.33	1.00			
台東			1.00	0.33	6.33	0.67		0.33	1.00	
墨田区					1.00	1.33			0.33	
江東区					5.67	0.67			0.67	
品川区			0.17	0.17	3.50	0.33	0.17		0.67	
目黒区				0.33	1.33	1.00	2.33		1.33	
大田区			0.22	1.67	3.78	1.00	0.33	0.11	0.67	
世田谷			0.13	0.13	3.63	0.25	1.00	0.13	0.75	
渋谷区			0.25		3.75	0.25		0.25		
中野区	0.17			1.00	3.17	0.50	0.50	0.50		
杉並				0.50	3.50			0.17	0.67	
池袋					0.20	0.60			0.20	
北区					5.00	0.25	0.25	0.75	1.25	
荒川区										
板橋区				0.17	1.17				0.33	
練馬区			0.20	0.80	0.80	0.40	0.60	0.20	0.20	
足立				0.50	3.25	0.25		0.25	0.25	
葛飾区				0.25	2.25	1.00	0.50	0.50	1.00	
江戸川			0.50	1.00	2.75	1.50		0.25	0.50	
西多摩				0.60	3.80	2.40		0.20	0.60	
八王子										
南多摩				2.00	1.67	1.33	0.33			
町田				3.50	6.00		1.00		1.50	
多摩立川		0.13			1.33	0.50			0.17	
多摩府中				0.40	1.10	0.80	0.20	0.10	0.50	
多摩小平			0.17	1.00	3.67	0.50	1.00		1.17	
島しょ				1.00		1.00		1.00	1.00	

東京都合計	4	1	21	92	350	86	43	20	69	-
定点当り報告数	0.03	0.01	0.15	0.65	2.46	0.61	0.30	0.14	0.49	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年41週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田				0.25			0.25	
中央区								
みなと				0.33		1.00	0.33	
新宿区		0.17		0.33		2.00		
文京		0.33		2.00		4.00		
台東		0.33						
墨田区		0.33		1.33			0.33	
江東区		0.33		1.67				
品川区		0.50		0.17				
目黒区				0.33				
大田区		0.56		3.44				
世田谷				0.38				
渋谷区	0.25	0.25						
中野区				0.67				
杉並				1.50				
池袋								
北区				3.50			0.25	
荒川区								
板橋区		0.17		0.33			0.17	
練馬区				0.60				
足立								
葛飾区		0.75		0.75				
江戸川		0.50		1.25				
西多摩				1.00				
八王子						1.00		
南多摩		1.00		1.33				
町田		3.00		2.00		1.00	1.50	
多摩立川								
多摩府中				1.20			0.10	
多摩小平		0.50		1.50			0.17	
島しょ								

東京都合計	1	32	-	130	-	11	11	-
定点当り報告数	0.01	0.23	-	0.92	-	0.79	0.08	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年41週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					3				7
～1歳			2		26	8	3		31
1歳			1	1	45	21	11		25
2歳	1		3	2	25	11	4		4
3歳			2	8	29	12	3	3	2
4歳			7	7	28	10	5	5	
5歳			4	13	35	10	3	2	
6歳				9	24	5	2	2	
7歳				6	19	3	4	2	
8歳				9	17	2	4	2	
9歳				5	8	3	1	3	
10～14歳				8	22		1	1	
15～19歳					16				
20～29歳	3	1	2	24	53	1	2		
30～39歳									
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	4	1	21	92	350	86	43	20	69
先週比	-15	-6	-2	-4	-17	40	10	-1	-21

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月			1					1	
～1歳			2		1			3	
1歳		1	6		5			2	
2歳					16			2	
3歳			7		15			3	
4歳			7		10				
5歳			2		24				
6歳			2		14		1		
7歳			2		12				
8歳			1		11				
9歳					6				
10～14歳					7				
15～19歳			1		1				
20～29歳			1		8		2		
30～39歳							5		
40～49歳							1		
50～59歳							2		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	1	32	-	130	-	11	11	-
先週比	0	1	-17	-1	-15	0	-6	-2	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年34週～41週

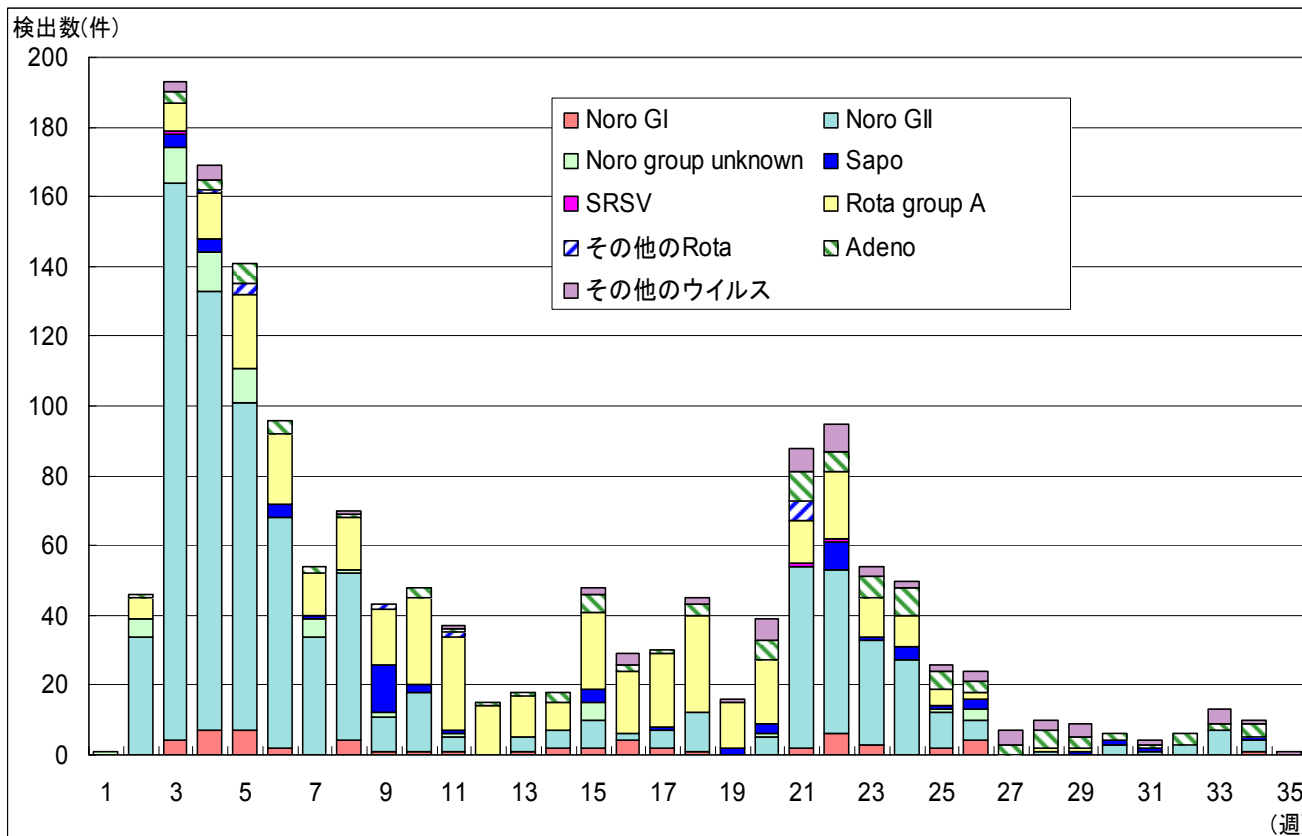
検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		34	35	36	37	38	39	40	41	
ウイルス	アデノ	5	11	6	12	5	8	13	8	68
	ライノ		1	1			4		2	8
	ポリオ	1						1	1	3
	コクサッキーA群	1	4		7					12
	コクサッキーB群	1	1		2	2		2	2	10
	エコー				3	2		1	1	7
	エンテロ71		1							1
	その他のエンテロ	5	6	17	7	3	7	9	7	61
	単純ヘルペス				1					1
	水痘・帯状疱疹							3		3
	ヘルペス6/7	3		1	2	1		1	2	10
	EB		3	2	1		1	1	1	9
	サイトメガロ			3	1		4	1		9
	ムンプス	1	2				1	3		7
	麻疹									
	風しん			1						1
	パルボB19	1								1
	RS	2	1	1	1	2	1	2	1	11
	ノロ		9		8		20			37
	ロタ	1								1
	インフルエンザAソ連型			9						9
インフルエンザA香港型	2								2	
インフルエンザB型										
デング			2						2	
その他のウイルス			1					1	2	
細菌	カンピロバクター			1	1			1		3
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌	20	16	11	10	5	5	12	5	84
	その他の腸管系病原菌	4		3		1	1		3	12
	溶血性レンサ球菌	3	3				2		2	10
	MRSA			4						4
	MSSA									
	その他の細菌								1	1
その他の病原体							1	1		2

臨床診断名別検出結果 2005年34週～41週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	17	28	24	200	43			11	4	1		17	6		2		233	
アデノ		15	8	9	1			7	1	2		4	1				20	68
ライノ		2	1	1								2					2	8
ポリオ																	3	3
コクサッキーA群		4							6	2								12
コクサッキーB群		1	1	2	2												4	10
エコー					5												2	7
エンテロ71																	1	1
その他のエンテロ		8	6	3	20				4			1			1		18	61
単純ヘルペス																	1	1
水痘・帯状疱疹																	3	3
ヘルペス6/7					2					1		4					3	10
EB		1										2					6	9
サイトメガロ		1			1												7	9
ムンプス					3								3				1	7
麻疹																		
風しん																	1	1
パルボB19												1						1
RS		2	9															11
ノロ				37														37
ロタ				1														1
インフルエンザAソ連型	9																	9
インフルエンザA香港型	2																	2
インフルエンザB型																		
カンピロバクター				3														3
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	84	84
その他の腸管系病原菌																	12	12
溶血性レンサ球菌																	10	10
その他の病原体																	11	11
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

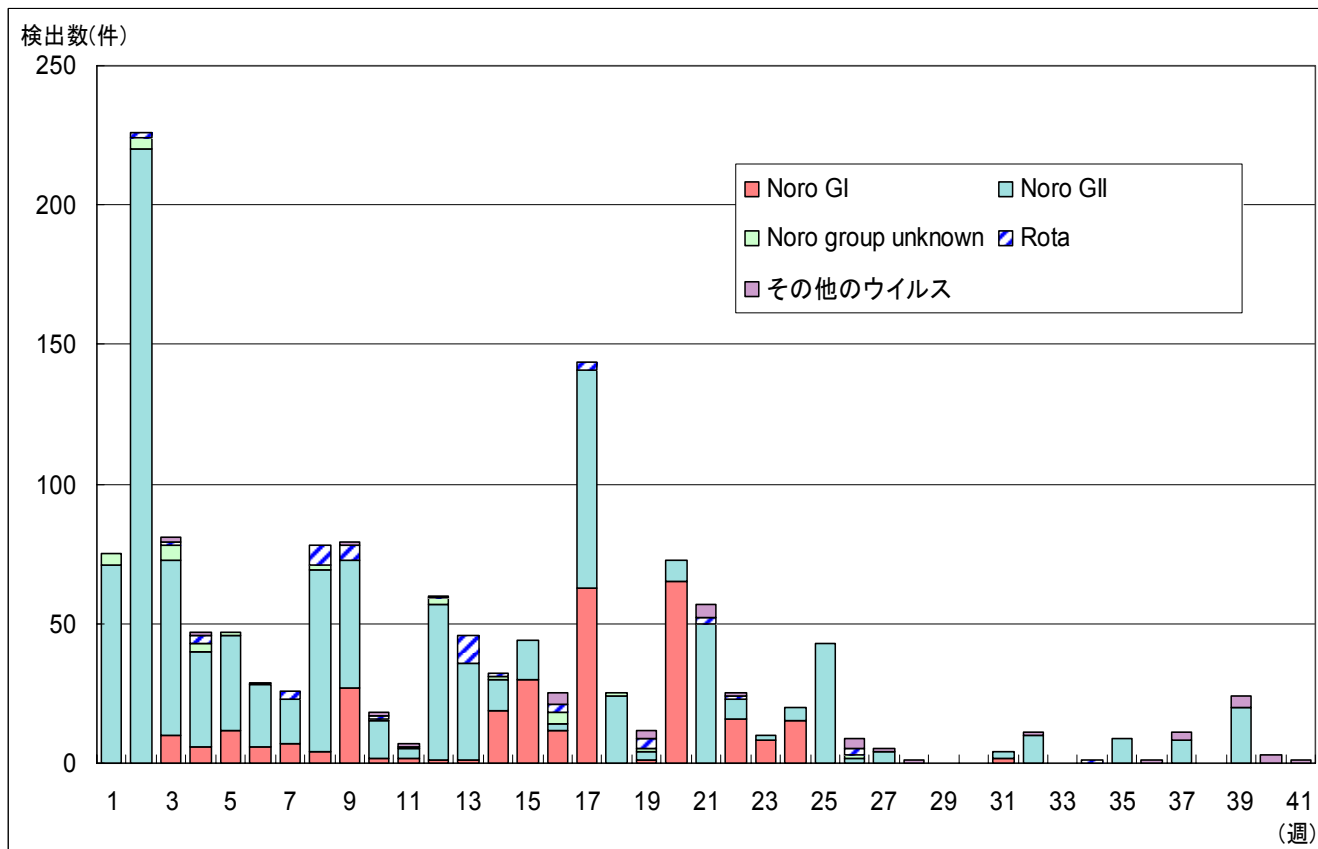
クローズアップ(感染性胃腸炎)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（全国）



IASR 病原微生物検出情報(2005年9月27日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科/多摩支所微生物研究科(集団発生を含む)

<感染症豆知識>

髄膜炎菌性髄膜炎

髄膜炎菌はヒトの咽頭に定着し飛沫感染により伝播する。流行性の髄膜炎を起こす病原菌は髄膜炎菌のみであり、旧伝染病予防法下では「流行性脳脊髄膜炎」として患者届出が行われていた。現行の感染症法では「髄膜炎菌性髄膜炎」は五類感染症として全数届出が求められている。

終戦前後の日本では、年間四千例を超える患者が発生していたが、戦後は激減し、1970年以降、百例未満となり、1999年の感染症法施行後は約10~20例と少ない。患者は4歳までの乳幼児が最も多く、ほとんどが国内感染例である。

海外では、先進国から発展途上国に至るまで患者がみられ、毎年世界で50万人の患者と5万人の死亡がWHOに報告されている。アフリカ赤道直北の髄膜炎菌性感染症の多発地帯は「髄膜炎ベルト」と呼ばれている。

髄膜炎菌は13の血清群に分類される。海外ではA群やB、C群が多いのに対し、国内分離株はB群とY群が主である。髄膜炎菌性髄膜炎はワクチンによって予防可能な疾患であるが、その効果は血清群特異的であるため、血清群別の発生分布を知ることが重要である。各医療機関・検査機関には血清群別検査への髄膜炎菌菌株提出を積極的にお願いしたい。

髄膜炎菌性髄膜炎流行地へ渡航する場合の予防接種については、現在のところ、渡航前に医師が個人輸入したワクチンを接種してもらうか、渡航国でワクチン接種を受けるしかない。曝露後抗菌薬予防投与についてWHOは家族や学生寮など小規模集団内での感染拡大防止には適当としている。

(文責 山下和予)